

第6学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金)2校時
対象 1組(男18名 女18名 計36名)
指導者 佐藤 澄江

- 1 主題名 よりよい学校に〔愛校心4 - (6)〕
- 2 資料名 きえた紙くず (出典:学研「みんなのどうとく」6年)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

第5学年及び第6学年の指導内容4 - (6)は、「先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。」となっている。この内容は、最高学年としての自覚の中で、みんなで自分たちの学校をよりよくしようとする心と、立派な校風をつくるため積極的に取り組みようとする態度を育てようとするものである。

愛校心は、児童自身にとって今の学校がどれだけ自分の役に立っているかという思いから生まれる。自分にとってかけがえのないものだからこそ、愛着心もわき、さらによくしたいという思いもふくらんでくる。また、それには友達や先生など他者との豊かな関わりが欠かせない。

この期の児童は、係活動やクラブ活動、委員会活動、遊び仲間などいろいろな集団に属しその役割と責任を自覚しながら活動をしている。学校の一員として自分の役割を自覚し、学校をさらによりよくしていこうという思いは、これから児童が生きていく社会集団への関わりをよりよいものにする基盤となるはずである。

(2) 児童について

児童は、登校班、児童会や学校行事などで集団のリーダーとしての役割を自覚したり、それらの活動を通して学校全体に目を向けたりできるようになってきている。

また、対外行事等で他校の児童と接する機会も増え、「自分の学校」ということを実感するようになってきた。一方で、自分の役割を自覚しつつも、もっとよくなりたい、もっとよくしたいという意識は薄いと考える。さらに、楽しいことを思い出にしたいという傾向にあり、学校が自分たちにとってかけがえのないものであるから大切にしたいという気持ちも薄いと考えられる。

学校に対する帰属意識が自然に芽生えてきたこの時期に、自分たちの学校をよりよくしていきたいという意欲を育てていくことが必要である。

(3) 資料について

本資料は、5年生のたけしの活動がきっかけになって、全校に「紙くずゼロ作戦」がひろがっていく資料である。6年生の教師が語り手となり、たけしとの会話が淡々と表現されていることが、たけしの純粋な気持ちを際立たせている。

たけしの言動がどのように学校全体の活動に結びついていったのかに焦点をあてることで、自分たちの学校への思いはどういうものなのか、改めて気付くことができる資料である。

(4) 指導にあたって

事前に「心のノート」を活用し、に自分の学校のよいところ(校風)を考えさせておき、自分にとっての学校のよさに気付かせる伏線としたい。

気づく段階では、事前のアンケートをもとに自分たちの学校には自慢できることがあるということに気付かせたい。

見つめる段階では、「わたし」ではなく、たけしの言動と気持ちに焦点をあてて追っていくことで価値にせまっていきたい。

つかむ段階では、たけしの言動はすべて「自分たちの学校」「学校が好き」という気持ちから起こった自然な活動であり、そのことと自分たちとを照らし合わせることでしっかりおさえさせたい。

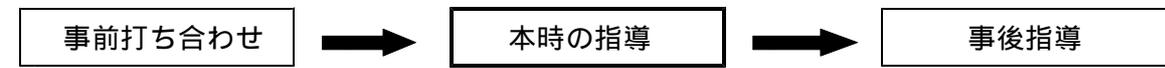
広げる段階では、学校をよりよくするために自分たちが活動してきたことを考えさせることで、価値を自分の生活に広げさせたい。

まとめる段階では、大新小を卒業された先輩方の学校への思いや、よりよい学校にしてほしいという後輩たちへのメッセージを提示することで、自分たちの学校を大切にしていこうという気持ちを高めさせたい。

この学習を通して、卒業までの一日一日を大切にしたいという思いを深められるようにしたい。そして学校のために役立つことを考えさせ、計画・実行させていきたいと考える。

4 本時指導の位置付け

<p>地域講師について</p> <p>大新小学校卒業生</p> <p>保護者</p> <p>本田 暁さん 齊藤美恵さん</p>	<p>協力を依頼するねらい</p> <p>みんなの学校は、代々の先輩方が大切にしてきた学校である。いろいろな歴史を刻み築かれてきた大新小学校に対し、誇りをもってさらに大切にしていこうとする気持ちを育みたい。</p> <p>特徴(よさ)</p> <p>児童の保護者で、本校の卒業生である。児童にとって身近な存在のため、児童は意欲的に話を聞くことができる。</p> <p>探し方</p> <p>通信、学級懇談会での呼びかけによって情報を得た方。</p>
---------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



<p>登場場面</p> <p>「まとめる」段階</p> <p>時間配分</p> <p>5分</p> <p>内容</p> <p>小学校時代に学校をよくしようと取り組んだこと。または、今でも残る学校の伝統。小学校を懐かしく大切に思う気持ちを語った内容</p> <p>どのように</p> <p>学校をよりよくしていきたいと願う気持ちが高まった後、ビデオを見せる。</p>	<p>主題名 よりよい学校に</p> <p>価値 愛校心 4 - (6)</p> <p>資料名</p> <p>「きえた紙くず」</p> <p>ねらい</p> <p>みんなで協力して、よりよい学校をつくっていこうとする心情を育てる。</p>	<p>学活 授業後の感想、お礼の手紙を書く。 総合的な学習の時間 校内清掃計画を立て、みんなで協力して実施する。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------

5 本時の指導

(1) ねらい

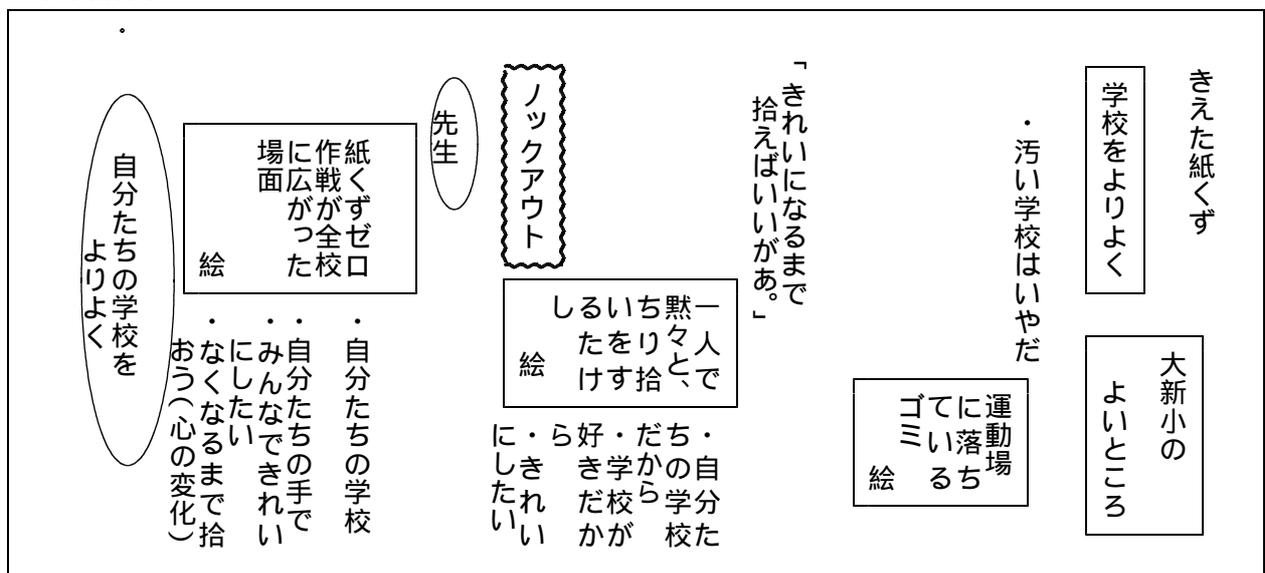
みんなで協力して、よりよい学校をつくっていかうとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される発言や心の動き	指導・援助の留意点
気づく5分	<p>1 学校の校風について考える。 大新小のよいところは、どんなところでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>大新小をさらによくするために自分たちのできそうなことを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が多い。 ・大新山がある。 ・縦割り遊びがある。 ・あいさつ運動がある。 	
見つめる つかむ25分	<p>2 資料を読み、「たけし」の言動について話し合う。 (1) 感想を発表する。 たけし君についてすごいなあと思ったことを話して下さい。</p> <p>(2) たけしの行為とその影響について話し合う。 たけし君がちり拾いを始めようと思ったのは、どうしてでしょう。</p> <p>この後もたけし君はごみを拾い続けます。もし自分だったらどうしますか。</p> <p>「きれいになるまで拾えばいいよ」と言いながらちり拾いをするたけし君は、どんなことを思っていたのでしょうか。</p> <p>先生が、自分のことを情けなく思えたのはどうしてでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生なのに一人でちり拾いをするのはえらい。 ・「みんなが捨てたらどんどん拾えばいい」という気持ちをもっているたけしさんはすごい。 ・先生をノックアウトさせた広い気持ちがすごい。 ・一人の力が全校や地域に広がっていったことがすごい。 ・汚い学校は嫌だなあ。 ・ごみがたくさん落ちているから拾おう。 ・学校が困っているから助けたいな。 ・きれいな校庭にしたいなあ。 ・遊びたくなる。 ・一人では限界があるからやめる。 ・きれいにしたいという気持ちはあるけど続けられない。 ・自分たちの学校だから拾わなくてはいけない。 ・みんなの学校だからきれいにしたい。 ・学校が好きだからきれいにしたい。 ・捨てた人をうらんだり怒ったりしていた心の狭い自分が情けない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たけしの言動で心に残った部分に印を付けさせる。 ・場面状況をおさえながら、価値にせまる。 ・たけしを身近な存在としてとらえさせたい。 ・「自分たちの学校」という視点をもたせる。さらに補助発問でたけしの「学校が好き」という気持ちを押さえたい。 ・たけしの言動が先生の意識を転換をさせたことに気付かせる。

	学校から紙くずが消えてしまったのはどうしてでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ たけし君の捨てなくなるまで拾い続けようとする美しい心は自分にはなかった。 ・ 紙くずゼロ作戦が全校に広まったから。 ・ 自分たちの学校だから、自分たちの手できれいにしたい、よりよくしたいという気持ちが広まった。 ・ 捨てる人より、なくなるまで拾おうという人の方が多くなった。みんなの気持ちが一つになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分たちの学校」だから大事にしたい、そこに関わる人の心も純粹で美しくありたいという気持ちに近付けたい。
広げる5分	3 自分を振り返り、学校について考える。自分たちが、学校のためにしてきたことはないでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな廊下歩行をめざして学年で取り組んだ。 ・ きれいな学校になるように、美化活動のとき一生懸命働いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちも学校をよりよくしようとしてやってきたことがあることに気付かせる。
まとめる10分	4 先輩方の学校への思いを聞いて、学校を大切にしていきたいという気持ちを高める。 大新小をよりよくしていくために、自分たちには何ができるでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校をきれいにしたいから掃除をがんばりたい。 ・ 明るい学校をめざして進んであいさつをしていきたい。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 数人の先輩方の学校への思い、後輩への願いを語る内容のビデオを見せる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校への思いを心のノート P95の下段に書くことでさらに価値を高めさせたい。

6 板書計画

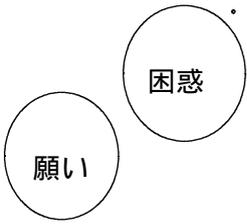
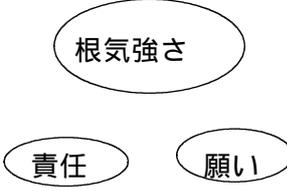
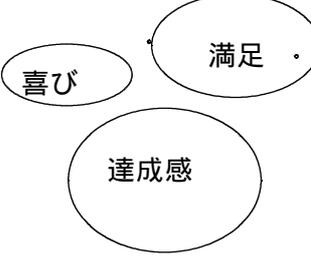


7 資料分析

資料名 きえた紙くず

(出典：学研「みんなのどうとく」6年)

ねらい
みんなで協力して、よりよい学校をつかっていこうとする心情を育てる。

場面	<p>学校がこまっていたとき、たけし君のちり拾いが始まった場面</p>	<p>「拾い続けられればいい」と黙々と拾うたけし君に先生がノックアウトされる場面</p>	<p>紙くずゼロ作戦が全校に広がっていった場面</p>
外的状況と登場人物の心の動き	<p>運動場が子どもたちのちらかしたゴミでよごれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして捨てるんだろう。 ・ きれいな校庭にしたいなあ。 ・ ごみがあるから拾おう。 ・ 汚い学校は嫌だな。 	<p>「きれいになるまで拾えばいいよ。みんなが捨てたらどんどん拾えばいいがあ。」</p> <p style="text-align: center;">愛校心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの学校だから捨わなくてはいけない。 ・ みんなの学校だからきれいにしたい。 ・ 学校が好きだからきれいにしたい。  <p>ノックアウトされた感じ です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心の狭い自分が情けない。 	<p>いつの間にか、学校から紙くずが消えてしまった。</p> <p style="text-align: center;">愛校心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの学校だから、自分たちの手できれいにできてよかった。 ・ 捨てる人より、拾う人が多くなったなんて素晴らしい学校だ。 
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分だったらできないな。遊んでしまう。 ・ どうしてたけし君はできるのだろう。 ・ きれいにしたいけど続けることは難しいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ たけし君は本当に学校を大切に思っているんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ たけし君の思いがみんなに伝わってよかった。 ・ 一人の思いが学校全体や地域まで影響を与えるなんてすごい。
発問	<p>たけし君がちり拾いを始めようと思ったのは、どうしてでしょう。</p>	<p>「きれいになるまで拾えばいいよ」と言いながらちり拾いをするたけし君は、どんなことを思っていたのでしょうか。</p> <p>先生が、自分のことを情けなく思えたのはどうしてでしょう。</p>	<p>学校から紙くずが消えてしまったのはどうしてでしょう。</p>

(中心発問)